



発信！附特の魅力！

～新任校長が感じた附特の魅力を伝えます～

大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校

校長 野田幸代

パート13：県立図書館との連携

中学部3年生が、自分たちで育てた野菜を県立図書館で販売しました。「たくさん買ってくれるかな」「売れなかったらどうしよう」と期待と不安に胸をふくらませ、出かけました。

校内での販売の経験はありますが、校外での販売は初めてということもあり、看板作りや対応の練習にも、いつも以上に熱が入りました。



初めての校外での販売。
難しさを感じた生徒たち…。

「お客さま、来ないな～」
「外での販売は難しいな～」
「学校では、たくさん
売れるのに…」

地域の皆さまに、たくさん
買っていただき、完売
しました。お買い上げあ
りがとうございました。



※学校に戻って、今後の販売のために、改善点を考えました。

どうすれば、たくさん買ってもらえるかな？

- ・自分たちのことや大切に育てた野菜のことをもっと知ってもらおう！
- ・販売する日にちを知らせるポスターを、貼ってもらおう！

地域という身近な
人々との対話の中
で、生徒の活動意
欲がますます強く
なりました。



高等部の生徒の中には、県立図書館で2週間の現場実習を行った生徒もいます。一つ一つ丁寧に仕事を進めたり、最後までがんばったりしている姿が評価されています。

仕事内容は、

- ・本を洗剤でクリーニングする
- ・返却された本をラベルごとに整理する
- ・文書の発送準備 など

